

# LAKPAKPO

青年海外協力隊  
ベナン共和国通信  
2023年7月号



## お久しぶりです！

みなさんこんにちは！昨年度5年生の担任をした田口奈央です。

私はこれから、JICAの青年海外協力隊として西アフリカにあるベナン共和国に約1年8ヶ月派遣されます。

私には小学生の頃から「途上国の人たちの力になりたい」という夢と「途上国の文化に憧れ」がありました。大学生の頃いろいろな国で学校に通えない子どもたちとたくさん出会いました。その頃から世界の問題が他人事ではなく「自分ごと」になり、「自分にできることってなんだろう？」と考えて生きてきました。今、やっと夢のスタートラインに立てたところです。私が行ったって何も変わらないかもしれないし、ただの自己満足かもしれません。それでも同じ地球市民としてベナンの子どもたちに少しでもより良い教育と未来を届けたいと思っています。

ベナンでは、教育委員会と小学校で働きます。いろいろな学校を訪問して、現地の先生方と一緒に算数・音楽・図工・体育の授業をよくするための手段を考える予定です。

4月から6月にかけては、長野県でベナンの公用語であるフランス語の訓練を受けていました。今は自宅に帰ってオンライン授業を受けたり荷造りをしたりしています。

8月6日に日本を出発します。新しい出会いにワクワクが止まりません！



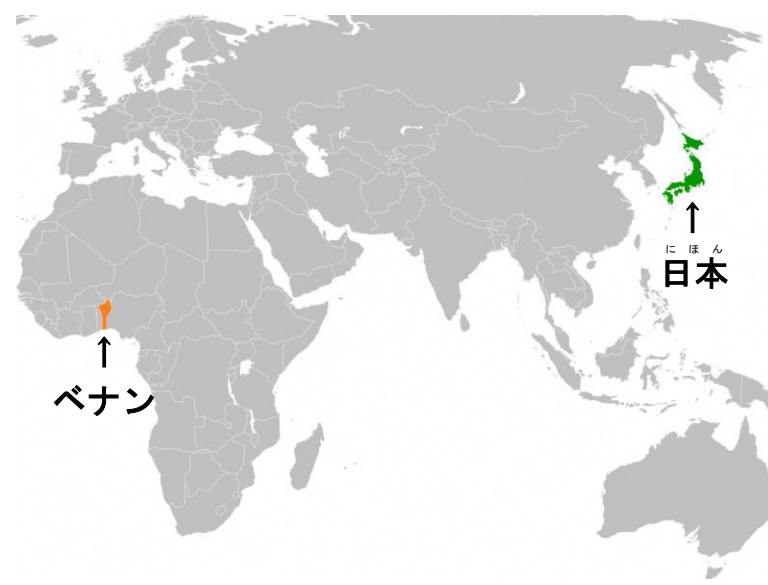
## 日本とベナンの「繋がり」

この通信のタイトルである「LAKPAKPO」(ラァパポ)はナゴ語(私が住む市の言葉)で「繋がり」という意味です。これを読んで、日本から遠く離れたベナンのことを身近に感じてもらえたら嬉しいです。

アフリカは、「貧しい人がたくさんいる」「治安が悪い」「紛争が起きている」など「危ないところ」と思われがちです。悲しいことに、貧しい人もたくさんいます。治安が悪い国や地域もあります。しかし、アフリカには日本にはない素敵なおともたくさんあります！この「LAKPAKPO」ではみなさんにベナンの楽しいところ・面白いところ・カッコいいところをたくさん伝えていきます！月に一回の発行ですが、お楽しみに！

## ベナン共和国ってどんな国？

- ・場所：西アフリカに位置します。日本との時差は8時間です。みなさんがお昼の給食を食べている頃、ベナンは夜中です。
- ・国土：南北に長い国で、大きさは112,622平方キロメートル。日本の約3分の1の小さな国です。
- ・気候：熱帯雨林気候のため、1年を通して暑い国です。雨があまり降らない「乾季」と雨がたくさん降る「雨季」に分かれています。
- ・人口：約1200万人。日本の10分の1です。
- ・言語：公用語(国が定めた正式な言語)はフランス語です。しかし、フランス語は小学校に入学をしてから学ぶため、学校に行けない人はフランス語を話すことができません。私が住むプラトー県ケトゥ市では「ナゴ語」という現地語が使われています。ベナンで話されている現地語は50以上もあり、ベナン人同士でも会話が成り立たないこともあるようです。
- ・有名人：タレントのゾマホンさんがいます。また、バスケットボール選手である八村塁さんのお父さんはベナン人です。



↑ 派遣前訓練の修了式にて